

2019年 トップに聞く

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

野崎 秀則社長



18年を振り返って
9月期決算も業績が順調であり7期連続で増収増益となった。25年を目標年次とした、新たなビジョンと中期経営計画を策定し、売上高700億円以

上、営業利益30億円以上などを目標に掲げており、確実に達成したい。
また、グループ全体のブランド力をより一層向上させるため、ACKグループから「オリエンタルコンサルタンツホールディングス」に商号を変更した。

19年の取組み
グループ全体で、インフラ整備・保全、防災、交通(高度化・総合化)、地方創生、海外新規開拓

の5つの重点化事業を定めており、それぞれ事業の拡大を図る。国内市場では地域や行政区域などの所定のエリアにおいてエリアマネジメントを展開

下流までを実施する垂直統合および複数の事業の複合化による総合事業を本格化させる。CIM、BIMなどの取組みを進め、調査から設計にかけ

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入し、テレワークや在宅勤務も適用している。私が委員長を務める委員会も設置している。私が委員長を務める委員会も設置している。私が委員長を務める委員会も設置している。

商号変更でブランド力を一層向上

する。海外では現地法人の地域の拡大などを図るほか必要に応じて各地のパートナーと多様なアライアンスを組んでいく。

また、事業の上流から業務の効率化のため、働き方改革

の生産性を向上させる。同時に維持管理に関する論議、ガイドラインも作成して取り組みを進めている。また、女性の活躍と定着の観点からも様々な施策を進めており、女性

力を入れていく。新しい事に挑戦し、各企業が成長していることなど、グループの魅力を発信し、人材確保につなげていく。

性ネットワークも設け、個性の取り組みをグループ内に水平展開している。

人材確保
毎年100人超を確保しているが、国内外ともに不足している。新卒とともにキャリア採用にも

力を入れていく。新しい事に挑戦し、各企業が成長していることなど、グループの魅力を発信し、人材確保につなげていく。